

龍郷町立龍南中学校における環境教育推進の取組

1 本校の学校教育目標と環境教育の目標

学校教育目標：ふるさとを愛し、学ぶ意欲と確かな判断力・実践力をもち心身ともに健康で人間性豊かな生徒を育成する。

環境教育の目標：環境にかかわる事象に直面させ、具体的に認識するとともに、因果関係や相互関係の把握力、問題解決能力を持ち、よりよい環境づくりをめざす生徒を育成する。

2 主な実践内容と考察

(1) 総合的な学習の時間「1年：奄美大島を考える」

地元の環境や産業を知り、将来の進路設定へとつなげるために、1年時に総合的な学習の時間に、「自然豊かな奄美大島の環境について調べよう」を学習課題とし探究活動を行った。

今年度は「オキチモズク」「鶏飯」「ハブ」「奄美の鳥」「ウミガメ」「アマミノクロウサギ」「郷土のお菓子」「食べられる野草」「奄美の歴史」のテーマに取り組み、文化祭と町の志主張・ふるさとガイド大会にて発表

した。生徒は積極的に、楽しみながら問題解決に取り組むこ

【文化祭でのワイド節発表】

とができた。今後も、ふるさとの環境に意識的に目を向け主体的に関わる態度を育てていきたい。

(2) 技術家庭科（家庭分野）

奄美大島は、気候区分の違いから栽培される食材・植生が島外と異なっており、そのため料理も、味つけ・調理法・食材の組み合わせなどが独特である。また、島の自然に対応した住居様式、シャリンバイや鉄分を多く含み火山ガラスを含まない奄美特有の田泥が生み出す大島紬、結いの精神が今なお続く家族・地域の人びとのつながりなど、奄美大島・龍郷町の生活の全てが家庭科教育の衣食住・家族・地域について取り上げるべき題材の宝庫である。

そこで、家庭科では全分野で地域環境に関する題材を取り扱っている。今年度は、「旬の食材を生かした調理」「奄美の保存食」「伝統料理」「大島紬着付け体験・泥染体験」「地域の保育園実習」など行い、地域の衣食住について体験を通じた学習を行い、家庭科本来のねらいをよりよく達成できた。今後も、地域の人的・物的環境をE S Dの視点から教材化して家庭科教育を実践していきたい。



【大島紬着付け体験】



【泥染体験】



【パパイヤを使用した調理実習】



【保育園実習】